

## 広域大気汚染・雷の静止衛星からの観測構想

## Geostationary Observation of Atmospheric Chemistry and Lightning (GOAL)

# 鈴木 睦 [1]; 奥村 真一郎 [2]; 塩見 慶 [3]; 北 和之 [4]; 今村 剛 [5]; 牛尾 知雄 [6]; 高橋 幸弘 [7]

# Makoto Suzuki[1]; Shin-ichiro Okumura[2]; Kei Shiomi[3]; Kazuyuki Kita[4]; Takeshi Imamura[5]; Tomoo Ushio[6]; Yukihiro Takahashi[7]

[1] JAXA/ISAS; [2] JSGA; [3] JAXA/EORC; [4] 茨城大・理; [5] JAXA 宇宙科学本部; [6] 大阪大・工・情報通信; [7] 東北大・理・地球物理

[1] ISAS/JAXA; [2] JSGA; [3] EORC/JAXA; [4] Ibaraki Univ.; [5] ISAS/JAXA; [6] Osaka Univ.; [7] Dept. of Geophysics, Tohoku Univ.

著者らはこれまで、静止衛星からの広域大気汚染などの大気化学現象と雷の気象学・大気化学などの観測を目指す、Geostationary Observation of Atmospheric Chemistry and Lightning (GOAL) 衛星構想の提案活動を行ってきた。FY16 から JAXA/EORC において、GOAL 衛星構想のための衛星システムおよびセンサーの概念検討作業が行われている。その結果、1年寿命の試験衛星・科学衛星によるデモンストレーション観測を前提にすると、これまで提案してきた、小型センサーによる観測が実現可能であることが明らかになってきた。ここでは、センサー概念検討、センサー実現性検討、アルゴリズム検討、衛星システム検討などの、最近の進捗状況について報告する。